児童発達支援

事業所職員向け　児童発達支援自己評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	未記入	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9	1			・利用者一人に対して使用しているスペースはやや広いと感じる。支援を実施するスペースはパーテーションで仕切って支援している。 ・児童発達支援の利用者1名のため、十分なスペースが確保されている。
	②	職員の配置数は適切であるか	8	2			・マンツーマンもしくは利用者一人に対して職員二人ついて支援を行っている。 ・現在、午前中のみの利用であり、極力2名の職員体制で対応を行っている。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	10				・一人に対して支援を行っているため十分すぎる広さの環境である。支援を実施するスペースはパーテーションで仕切って集中して支援できるようしている。 ・利用児童1名だが、その児童は歩行可能な、十分なスペースが確保されており、室内を整理整頓し、パーテーションで区切り、集中できる環境を設定して取り組んでいる。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	8	1		1	・パーテーションを活用し、集中できる空間を作っている。 ・支援前に清掃、消毒を行っている。支援を実施するスペースはパーテーションで仕切って支援している。 ・机上活動や身体活動、表現活動、ルール遊び等、さまざまなプログラムを通して、就学に向けた内容を適宜実施している。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	2	6	2		・児発管を中心に取り組み、他の職員に伝えている。 ・日々のミーティング、定期的なモニタリング等により計画の見直しを実施している。 ・身体及び認知機能の成長、課題にあわせて、プログラムを決め実施している。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8	1	1		・アンケートの実施、日頃の電話やラインでのやり取りで保護者の意向を汲み取る努力をしている。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	9			1	・毎年、アンケートを実施してホームページに掲載している。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		7	2	1	・直接的な第三者からの外部評価は行っていない。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	2			・研修情報は、全体会議の時に受けている。 ・毎月では無いが、全体会議の中で研修を行って支援方法の見直し、職員の資質向上に努めている。

適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	9	1			・児発管と担当職員を中心に作成できている。日頃の会話や家族と電話やLINEのやりとりを通してニーズをくみ取る努力をしている。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	4	1	1	・事業所独自のアセスメントシートで対応している。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5	4		1	・本人への支援はできている。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6	1	1	2	・児発管が立案した計画に沿って支援を実施している。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	3	1		・その関わる人達の中では話し合いがなされている。 ・リハビリ職や保育士を中心に、プログラムを考え、職員間で情報共有し、実施している。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	1		2	・基本的には曜日ごとに活動を決めて実施しているが、学習内容の変更や季節感を感じられるよう内容に工夫を凝らしている。 ・支援する児童の状態に応じて内容を変化している。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか		7	2	1	・利用者が一人のため、個別活動のみ実施している。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	1	1	1	・必ずとも言えない。 ・毎日、送迎前にミーティングを実施し支援の内容や注意点を確認している。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	3	2		・当日はできていないが、翌日や後日にミーティングの中で確認をしている。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9		1		・実施した支援や本人の様子を記録に残し、ミーティングなどで振り返りをして次の支援に活用できるようしている。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7	1	1	1	・ちゃんとしたモニタリングというか、終了後の情報共有はしている。 ・毎日、どのように過ごしたのかや児童の反応をケース記録に残している。また、病院受診や体調などは担当職員や看護職員で記録をしている。
関	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9			1	・児発管を中心にモニタリングを行い、計画の見直しを行っている。必要に応じてその他の職員と話し合いを行い、より良い支援が実施出来る様している。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	4	5	1		・子育て課との連携はない。 ・直接、専門機関との連携はないが、相談支援事業所や保育園と本人の様子など情報共有し連携を行っている。 ・毎回、通園先の保育園との情報共有実施。

係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	3		5	2	・対象となる利用者がいない。
	㉔	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	3	1	4	2	・対象となる利用者がいないが、必要であれば家族から指示書や処方箋の情報を提供してもらい、それに沿って支援、処置を行う。医療情報提供書を作成し、緊急時の受診病院などが分かる様にしている。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8		2		・対象となる利用者がいない。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	1	2	1	・小学校とは直接ないが、保護者を通して、小学校と情報共有している場合がある。 ・対象となる利用者がいない。今後、必要であれば対応していく。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	5	2	1	・全国発達支援協議会主催の研修などには参加させてもらっているが、人数が限られている。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		2	6	2	・コロナの影響もあり、直接交流する機会は設けられていない。
	㉙	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ど も・子育て会議等へ積極的に参加しているか		2	7	1	・参加出来ていない。
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9	1			・送迎時の伝達や連絡帳、電話やLINEなどで家族とコミュニケーションを図っている。 ・毎回利用時の様子などを連絡帳に記入し、報告を行い、必要時は保護者へ連絡を行っている。
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）の支援を行っているか		2	6	2	・実施できていない。
保護者への	㉜	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9			1	・契約時に必要な説明を行っている。
	㉝	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	8		1	1	・対象により異なる支援内容になるが、太枠であるガイドラインには沿って支援計画を立案し同意を得ている。
	㉞	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行 っているか	8			2	・家族から相談があった場合に行っている。 ・モニタリングや家族との電話でのやりとりにおいて、適宜行っている。
	㉟	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	3	4	2	・コロナの影響もあり、実施できていない。
	㊱	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	2		1	・できるだけ要望に応じて対応するよう取り組んでいるが、不十分なところもある。

の説明責任等	㊲	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8		1	1	・毎月、月間予定表を配布し活動予定が分かる様している。また、行事など行ったあとで撮影した写真をLINEで送って家族が活動の様子を見れる様している。さらに年に2回、広報誌を発行している。
	㊳	個人情報の取扱いに十分注意しているか	10				・個人情報の取り扱いには十分に注意している。
	㊴	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9		1		・支援を行った際の反応やしぐさから気持ちを汲み取れるよう努力している。家族にその様子を伝えて、より良い支援に繋げるようしている。 ・利用者の反応や、表情の変化等の気持ちの表出について、家族や学校の先生に尋ねたり、職員間での会議を通じて、意思のくみ取りができるようにしている。
	㊵	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	8	1	1		・コロナが続いているため、積極的な交流は図れていないが、12月に実施したクリスマス会で中学校の学生や地域役員と交流を図れた。
非常時等の対応	㊶	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか		9	1		・各緊急対応マニュアルは作成、見直しを行い職員への周知、訓練を行っている。家族への周知はできていない。
	㊷	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8	2			・職員の火災避難訓練は年数回実施している。その他の訓練の実施は十分にできていない。児童発達の利用者は参加出来ていない。 ・年2回、防災避難訓練を実施したり、消火器訓練も実施している。
	㊸	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	9	1			・事前に処方薬や持病、てんかん発作についてなど確認を行っている。
	㊹	食物アレルギーのある子どもについて、指示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	8	1	1		・対象児童なし。 ・アレルギー等の医師からの指示書は取っていないが、保護者からの情報提供され、対応している。
	㊺	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	10				・毎日の朝礼でヒヤリハット、事故報告を行い情報共有をしている。また、毎月の全体会議や係会議で報告、確認を行っている。
	㊻	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10				・職員セルフチェックや虐待早期発見リストで調査を行い、法人として虐待予防に努めている。
	㊼	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	10				・身体拘束対象ではない。

〇この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。
「はい」、「どちらともいえない」又は「いいえ」のいずれかに「〇」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。